

市役所周辺整備計画は 五里霧中

市は12月議会で、「**中心市街地整備推進事業費**」を突然削除しました。これは、右図の赤いエリアをどう整備するか、について、「道の駅構想」を棚上



げする一方、それに代わる方向性を市が示せないことの表れです。

このことで、新しい大きな図書館の建設も、市民プールづくりも、先が全く見えなくなりました。

私たちは、まちづくりは「市民の合意」が一番大切だと主張しています。ご意見などをお寄せください。



**図書館3.4倍化構想も
市民プール構想も
座礁して進まず**

選択的夫婦別姓法制化求める意見書を 共産党はじめ6議員が提案

自民系・公明党・参政党が反対で否決

政府は通称使用の拡大を進めようとしています。これではダブルネームを使い分ける負担や管理コストの増加、さらに経団連が指摘する国際的な場面での不都合も現実には生じるなど問題が残されます。

選択的夫婦別姓制度導入の調

査では、女性の82.7%が賛成、男性は60.6%、総計で67.2%となっています。

世界の先進国で、**夫婦同性を強制している国は日本だけ**です。女性の人権、アイデンティティを守るため引き続き取り組んでいきます。

くらしの相談、市政へのご要望はいつでもお寄せください

の開催で
臨時議会

物価高騰から暮らしを守る緊急対策を市長に申し入れ
給食費の無償化実現を
下水道料金引下げや中小企業支援も



市長と懇談し、臨時議会招集と、下記の4項目を実施するよう申し入れました。

- ①国による4月からの小学校給食費無償化は全額国負担を求めるとともに、市独自で中学校給食費の無償化を実現すること
- ②すべての市民に行き渡る、水道料金および下水道料金減免や現金給付を行うこと
- ③中小企業・小規模事業者の賃上げに対する直接支援を実施すること
- ④医療・介護・保育・障害福祉施設等への物価高騰対策支援をおこなうこと

でも一番は、消費税の減税ですね！

日本共産党あやせだより

日本共産党綾瀬市議団ニュース

第75号

発行日 2026年1・2月 発行：日本共産党あやせ
連絡先 綾瀬市早川550 綾瀬市役所内
電話 77-1111(内線4122)

**給食の質の向上も
求め続けています**



無償になって給食の質が落ちた、とならないように、引き続き、今以上の質を求めていきましょう！

**災害対策を
国際基準レベルに**

日本の避難所環境は劣悪。一般質問で、国際基準「スフィア基準」実現を求めたところ、市は「今後、現状分析を行い、2026年度末までには基準とのギャップを把握するとともに、現在進めている「在宅避難」の啓発もあわせて避難生活の在り方について総合的に検討していく」と答弁。市の姿勢が一歩前進しました。



上田ひろゆき

☎090-6180-7977
ueda01ayase@gmail.com

福田くみ子

☎090-8270-5266
fkdkmk928@gmail.com



ブログ



ブログ

会派のホームページを開設しました。ご覧ください。



<https://jcp-ayase.com/>

不登校支援・教育支援教室・教育相談・就学相談
通級指導相談・青少年相談・青少年居場所

綾瀬市総合教育支援センター 7月開設へ

就学前児童～39歳までの青少年とその家族を総合的に切れ目なく支援できる体制を目指し、上記の機能を集約し連携する施設です。

従来の教育支援教室（ルピナス）がここに移転し、4月開校予定。あわせて不登校やひきこもりなどへの支援体制が7月以降充実しますので、期待しています。

しかし、総床面積が1433㎡の当初計画から、用地取得の関係から555㎡と手狭な施設となっているので、不便をおかけしそうです。お気づきの点があれば教えてください。



また、綾瀬市深谷中4-2-1に県の「綾瀬児童相談所」も昨年秋に開所。ご活用ください。

4月

こども誰でも通園制度 公立保育所で開始！

保育現場の
苦悩置き
去りのまま

在宅で子育てすることへの不安や孤立感解消を掲げた「こども誰でも通園制度」が始まります。しかし、保育の質や現場の不安を軽視した今の制度では保育する側の負担増だけでなく、預

けられる子どもの安全が守られないとの危惧の声があります。保育環境や働く労働条件を大きく改善させる取組を行い、一時預かり事業の拡充に舵を切るべきではないでしょうか。

実技

中学校プール授業廃止・小学校プール授業民間プール利用進む 民間プール利用経費は当初試算の2倍に

教育委員会は学校プールの老朽化を理由にプールを改修せず、民間プールの利用を進め、新年度からは小学校5校で実施予定です。

当初の試算では10校で50年間実施すると約9億円の経費としていました。しかし、

この間の実績から2倍以上（約20億円）になることを指摘すると、市も認めました。あまりにズサンです。

また、学校プールは



災害時には、トイレに流す水としても、ろ過して生活水とすることも想定される重要な役割を持っています。

学校プールを残していくことは必要ではないでしょうか。

みなさんのご意見をお寄せください。

2025年9月～10月 オスプレイが同時に8機も厚木基地に飛来(↓写真)

欠陥機 オスプレイの危険性 綾瀬市は調査研究を拒否

厚木基地はオスプレイの整備拠点としてだけでなく、訓練の中継基地としても利用されているようで、頻繁な飛来が目撃されています。

オスプレイは、2022年からだけでも4件の墜落死亡事故（死者は20名、負傷者も20名）、緊急着陸10数回にもなる欠陥機です。

そのことは昨年9月にアメリカ議会調査局の報告書（V-22オスプレイ：その状況と課題）でも指摘され、これ

らの事故が現時点では修復できない部品などの構造的な問題などで起きていることに言及しています。

私たちは、市としてこの報告書を研究し、オスプレイの危険性を認識することを求めましたが、市は「市としては行わない。国に確認していく」と述べるだけでした。市民の安全を真剣に守る気はないようです。



▲実際に墜落したときの映像

国保 また値上げ

2026年度から公的医療保険料に上乗せ徴収する「子ども・子育て支援金」の負担額は、会社員などが加入する被用者保険と比べると、年金生活者や非正規雇用などが加入する国民健康保険税では、同じ年収でも2倍以上の負担になる場合も！

そもそも健康保険税への上乗せは、行うべきではありません。市は、今後さらに30%程度の値上げを示唆しています。

国が財政支援を行い、高すぎる保険税を引き下げることが必要です。



「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」陳情が、自民系会派・公明党・参政党の反対で否決されてしまいました。

びっくりです
な、なんで？



「私学助成の拡充を求める」陳情は、参政党だけが反対。公教育を支える私学の重要な役割を理解していないようで、驚きました。